

かりがね祭り



10月4日(土)、「第27回
かりがね祭り」が、盛大に
開催されました。

かりがね祭りは、富士川
の氾濫を治めようと、かり
がね堤の築堤に尽力した古
郡氏三代(古郡重高・重政
・重年)の偉業を後世に残
すため、重年の没後300
年の記念事業として、昭和
62年に初めて開催され、今
も地元の人に愛される祭り
です。

かりがね祭りのメインを
飾るのは「投げ松明」。「じょ
うご」と呼ばれるかごを目
がけ、火のついた松明が一
斉に投げられます。

じょうごに火がつき、迫
力のある火柱が立つと、熱
風が押し寄せ、辺り一面は
オレンジ色の光に明るく照
らされます。

祭りの最後には、かりが
ね護所太鼓の勇壮な演奏が
響き、満開のコスモスに囲
まれる中、いくつもの火花
が上がっていました。



1 一斉に投げ込まれる松明
3 火柱に歓声を上げる観客
5 かりがね護所太鼓の演奏

2 豪快に燃えるじょうご
4 松明を振り回す参加者
6 満開のコスモスと花火



3
6



2



4
5

